

もぶる 防災かるた

あ

あぶら
油に火
ひ

みず
水かけないで

しょうかき
消火器を

あ



油に水は逆効果

揚げ物や石油ストーブなど、油が原因の火災のときに水をかけるのは厳禁です。

水をかけると、火柱が上がったり、水蒸気爆発を起こすこともあるので、消火器や砂で消化をしましょう。



いりぐち
入口に

おお
大きな家具は
かぐ

お
置かないで



入口を妨げない配置

震災時、転倒した家具によつて経路がふさがれて避難できなくなるケースが発生しがちです。

避難経路を確保するため、入り口付近には家具を置かないのが鉄則となります。

う

浮うき輪わない

ペツトボトルで

代だい用ようだ

う



浮き輪の代用①

川でライフジャケットや浮き輪がない緊急時ではペットボトルが活躍します。

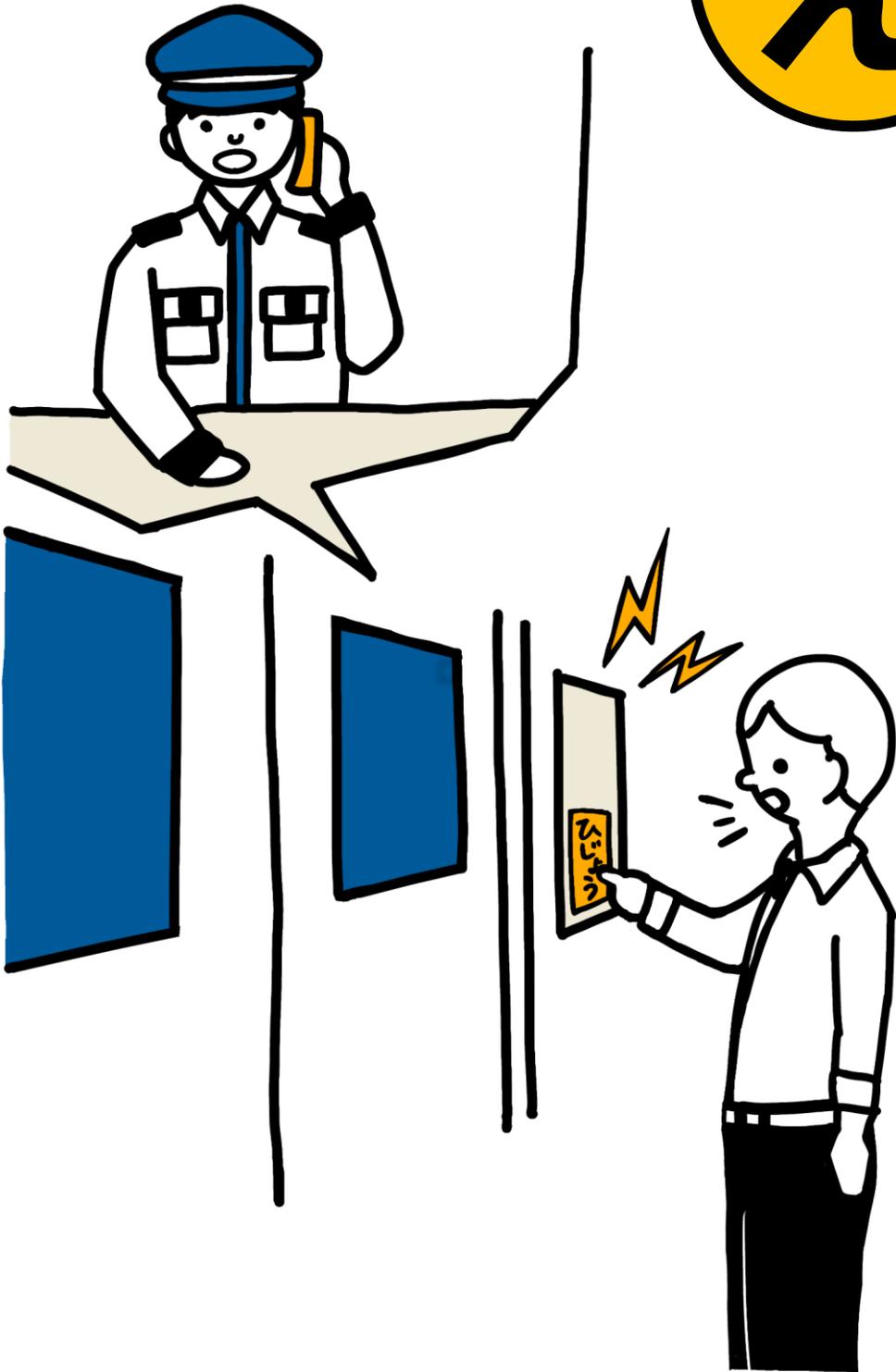
お腹と胸の間あたりに抱え込み、静かに体勢をキープすると、安定して水面から顔を出せます。



エレベーター

地震じしんで止とまれば

非常ひじょうボタン



焦らず非常ボタン

エレベーターは震度4以上の揺れで自動停止します。

そんなときは、焦らず非常ボタンを押すか警察・消防に連絡し、応答を待ちましょう。

お

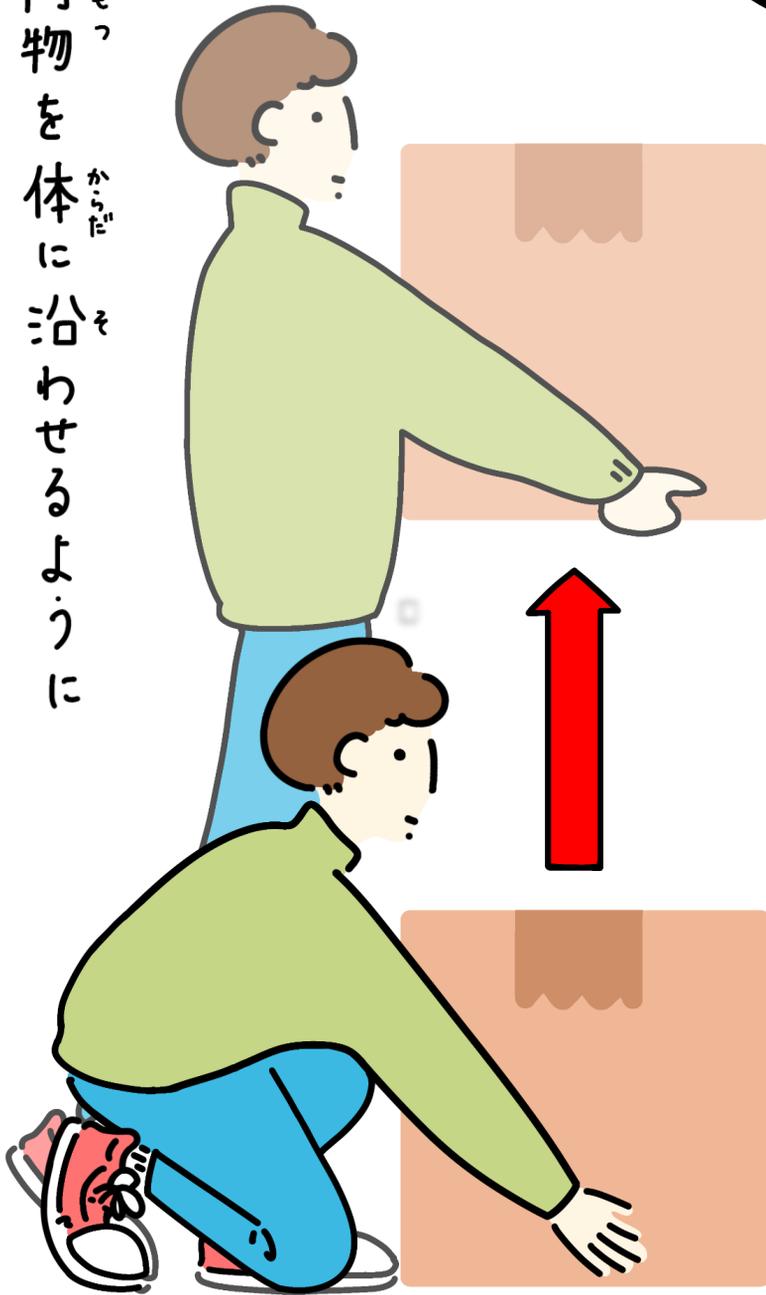
重いもの

持ち上げるとき

すいちよく
垂直に

お

荷物^{にものつ}を体^{からだ}に沿^そわせ^るように
背中^{せなか}・腰^{こし}への負担^{ふたん}を軽^{かる}くする



重い荷物の持ち上げ

重い荷物は体に沿わせる
ように垂直に引き上げるこ
とで、楽に運べて、腰を痛
めずに済みます。

しやがまない & 荷物を体
から離すと、背中と腰への
負担が大きくなるからです。

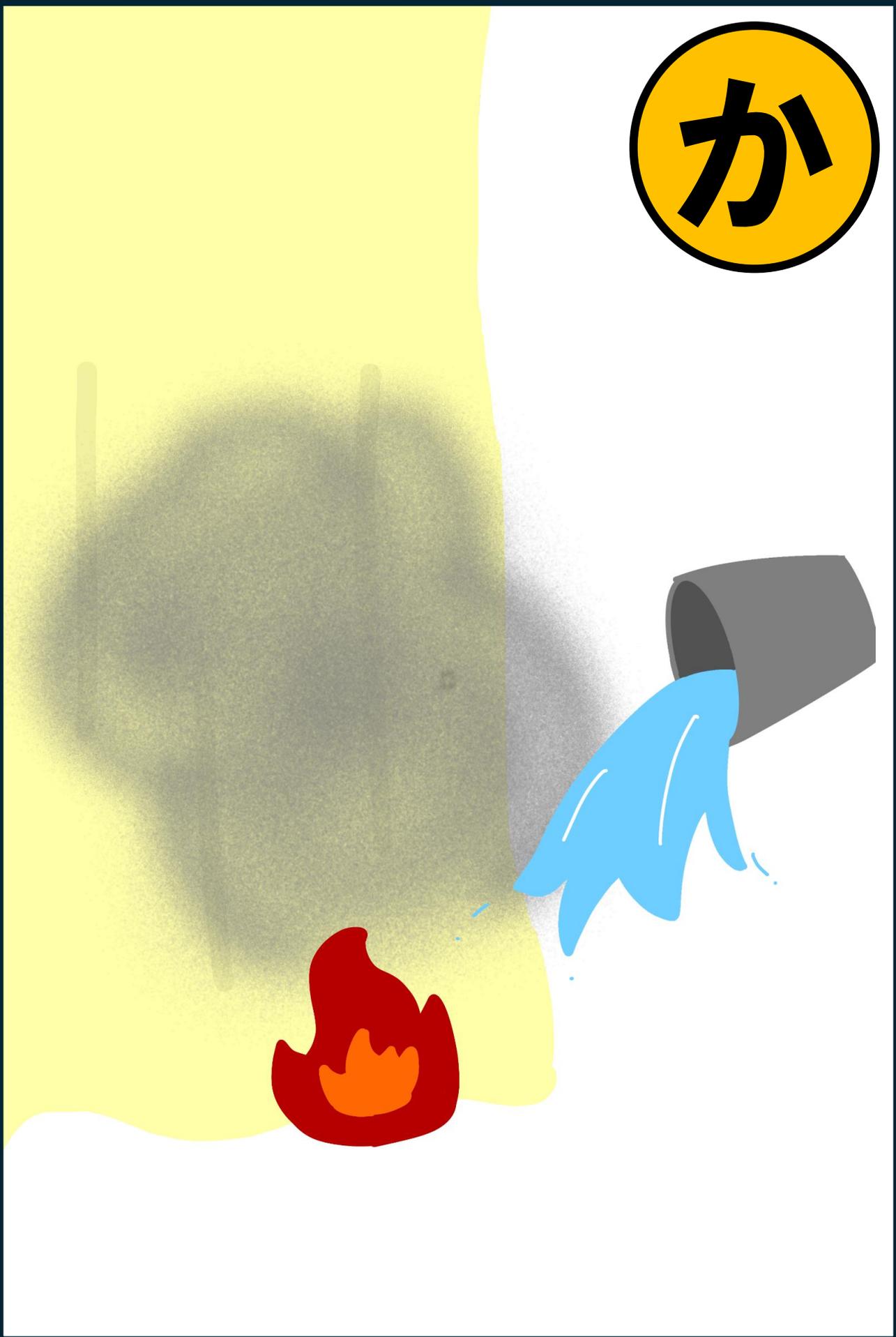
か

カーテンに

火^ひがついたとき

水^{みず}かけて

か



初期消火の基本

カーテンに火がついたときは水をかけましょう。

また、延長コードなどの電子機器から火が出た場合は、まずコンセントを抜き、それから水をかけましょう。



シャツの中

なか

空気を入れて

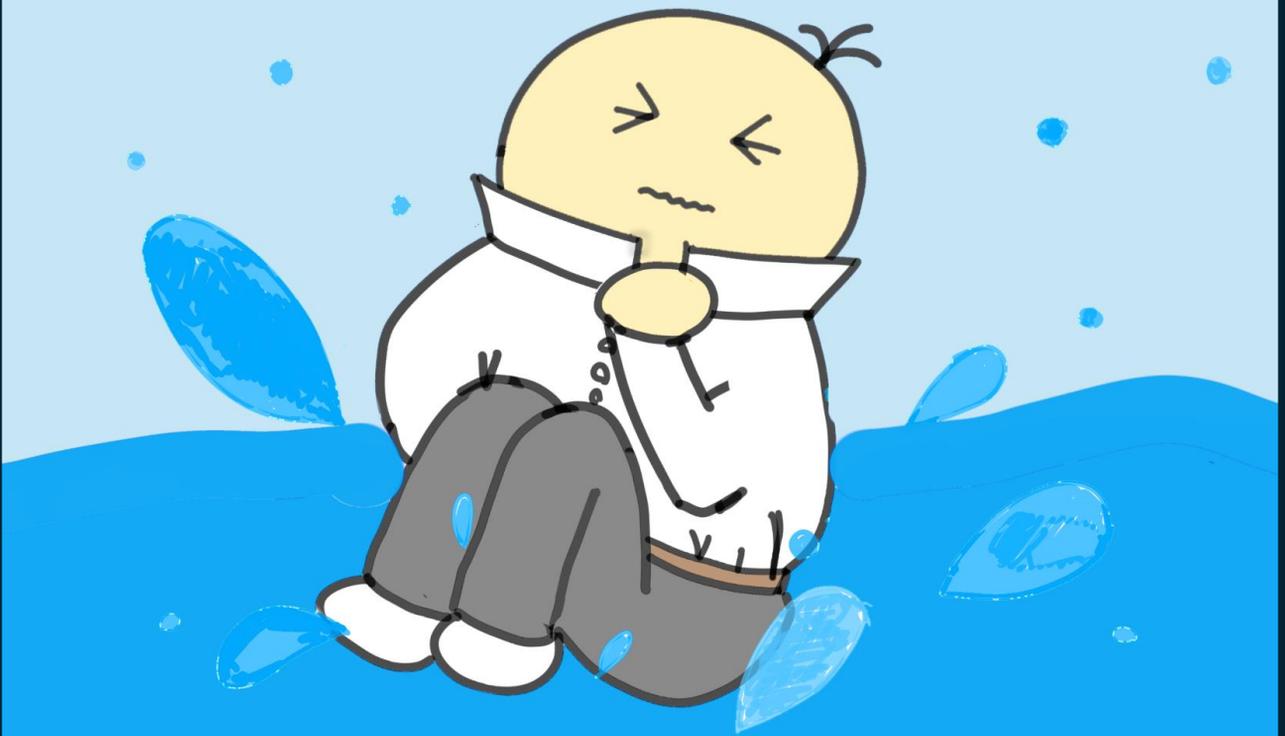
くうき

い

浮き輪代わり

う

わが



浮き輪の代用②

船の転覆・沈没時など、
海に飛び込まなければなら
ぬときに有効です。

左右の襟を立てて片手で
しっかりつかみ、もう一方
の手でシャツに空気を含ま
せて飛び込みましょう。



睡眠中

すいみんちゆう

地震が起きたら

じしん

お

ドア開ける

あ



ドアを開け出口確保

ドアが歪むので安全に配慮しながら

まず、**ドアを開けましょう。**

そして、避難時にガラスを踏むと危険なのでスリッパや靴、懐中電灯を枕元に置きましょう。

せ

静電気

せいでんき

地面に手をつけ

じめん

て

放電だ

ほうでん

せ



「バチツ」を防ぐ

「バチツ」となるのは、
身体に溜まったまま動かな
い電気＝静電気のせいです。
土や砂、アスファルトの
地面、壁などに手をつき放
電することです。「バチツ」
となるのを防げます。



そ
備えとじ

まくら

枕もとじには

ふえ

笛や靴

くつ



家での備え

部屋から出られず動くことができないう状況になった時に、笛で助けを呼べるように備えておきましょう。

また、窓ガラスや食器の破片が飛び散っているかもしれないので足を守るための靴も備えておきましょう。

ち

ち
血が出たら
で

て
手ぬぐい使
つか
って

おうきゆうしよち
応急処置

ち



応急処置

① 清潔な手ぬぐいがあれば、出血している傷口に直接手ぬぐいを強く当て、圧迫します。

② 太ももや腕をケガした場合、出血している傷口より心臓に近い位置を手ぬぐいで縛り、圧迫します。



ツナ缶に

かん

綿めんひも差さして

ロウソクに



綿ふも



ホッ……



ロウソクの代用

ツナ缶の蓋にキリなどで穴を開け、そこに缶の高さの2倍の綿ひもを差し込むことで、ツナ缶ランプができます。

綿ひもがない時はティッシュで作ったこよりでも代用できます。



停電時

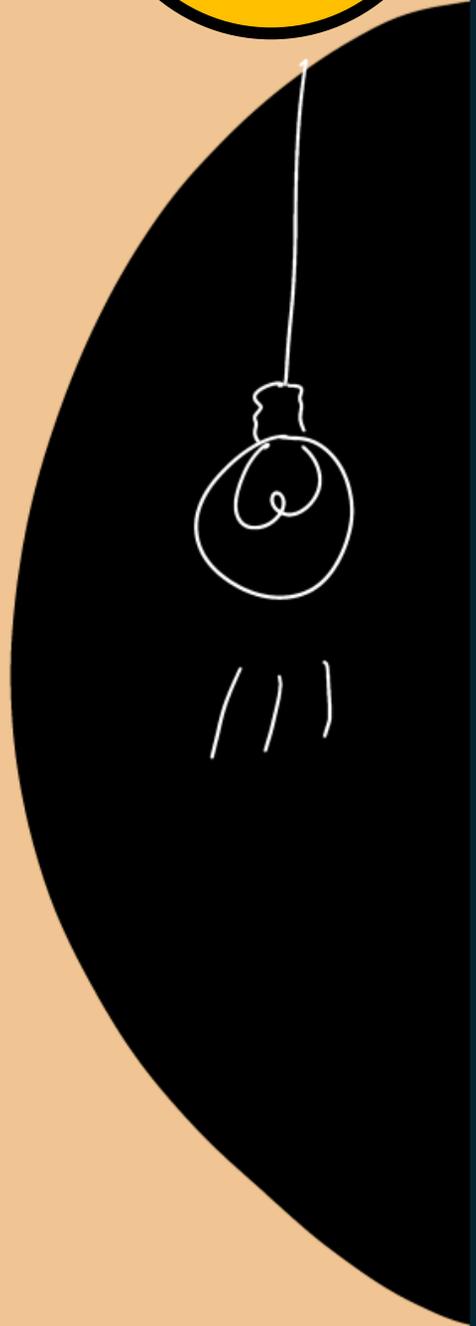
ていでんじ

こうしゅうでんわ

公衆電話で

つうほう

通報だ



SOS

公衆電話の特徴

公衆電話は災害時に通信規制される場合でも、優先的に取り扱われます。

また、通信ビルから電力の供給も受けているため停電時でも電話をかけることができます。

に

入浴中

にゆうよくちゆう

地震で焦るな

じしん

あ

服を着る

ふく

き

に



転倒に注意

お風呂場は滑りやすいので
慌てずに行動しましょう。

また、発生時の対処や緊急
地震速報が聞こえるように、
風呂場に携帯を置いて入浴
する習慣をつけましょう。



ねっしやびよう

熱射病

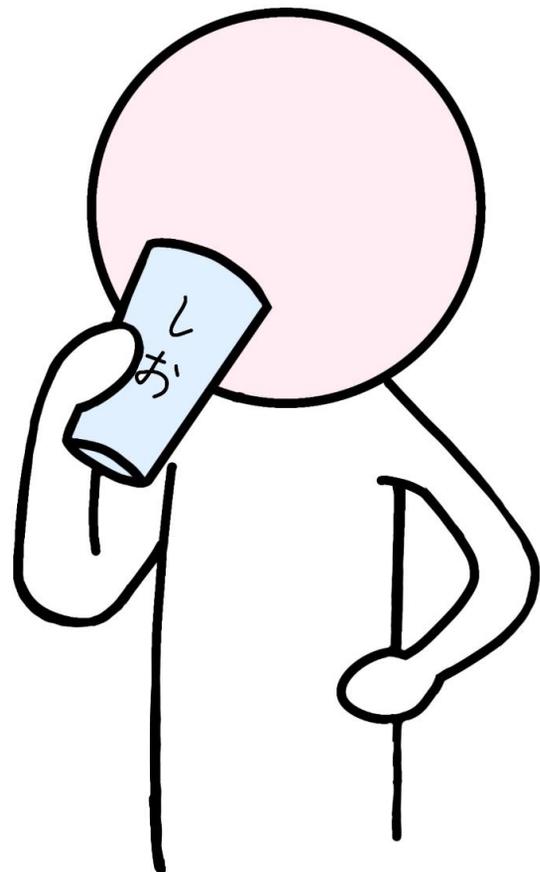
からだひ

体冷やして

えんぶん
と

塩分取れ

ね



熱射病の対処法

熱射病は大量の汗をかき、体内の塩分や水分が著しく不足すること、重度の意識障害を発症する病気です。

症状が見られたら、日陰で仰向けに寝かせ、身体を冷やし、冷たい塩水を飲ませるようによみましょう。



避難場所

ひ
な
ん
ば
し
よ

年ねんに1度どは

行いって
みよう



避難場所の確認

いざとらうとぎに慌てないよう、**自宅周辺にある避難場所や避難経路を確認しておくことが大切です。**

年に1度は実際に歩いて確認するようにならう。

ほ

ポリ袋

ぶくろ

皿にかぶせて

さら

手間なくす

てま

ほ



ポリ袋の活用

食器にポリ袋をかぶせる
ことで、食器洗いをせずに、
食器を衛生的に保つことができ
ます。

災害時の水が貴重な時や
断水時に極力、食器洗いを
避けたいときに役立ちます。

ま

街中まちなかで

揺ゆれ感かんじたら

下した向むくな

ま



街中で地震発生

街中を歩行中に地震が発生したら、**下を向いて姿勢を低くするのは厳禁です。**

下を向くと、上からの落下物に気づかず、回避できない恐れがある為、**どんな状況でも上を見ましよう。**

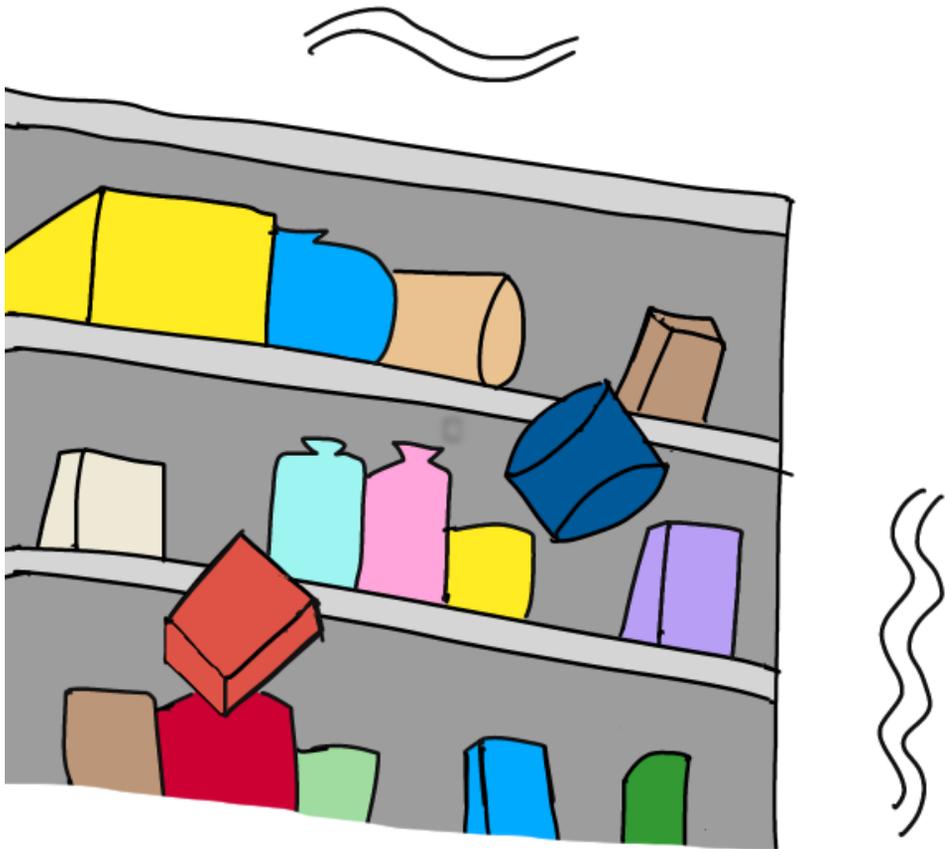


みせ
じしん
店で地震

たか
たな
高い棚から

はな
離れよう

み



店内で地震発生

スーパーやコンビニなど
にいるときに地震が発生し
たら、**陳列棚からはすぐに
離れましよう。**

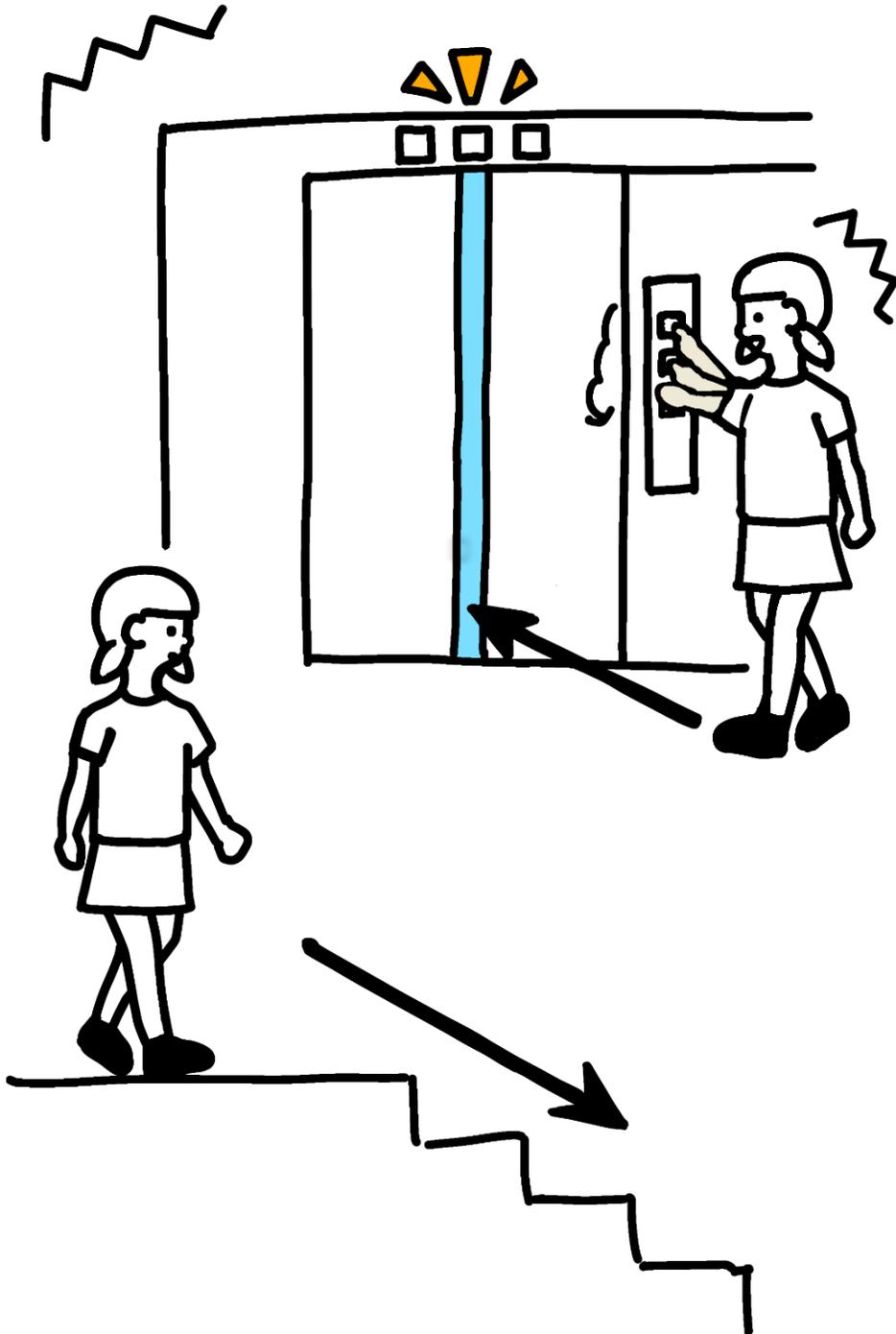
棚から離れた後は、店員
の指示に従って**非常口**から
避難をします。



揺^ゆれ^れて^てい^いる^る

エ^エレ^レベ^ベー^ータ^ター^ーよ^より^り

階^{かい}段^{だん}で



階段で避難

エレベーター内で、強い揺れを感じたら全ての階のボタンを押しましょう。

その後、止まった階で降りて、あとは階段で避難するようにならしましょう。

よ

よる
夜の山
やま

きぎ
木々の隙間を
すきま

み
見て進め
すす



夜の山で遭難

夜の山に迷い込んだ場合は空を見上げましょう。

月灯りを頼りに、木の隙間がある方に向かえば、人が歩ける開けた道である可能性が高いです。

ら

ライト当て

あ

鼻を殴って

はな

なぐ

チカン撃退

げきたい

5



チカン撃退法

夜道でチカンに遭遇した場合、まずチカンの目にライトを当て、相手がひるんだときに鼻を殴り、110番通報をしましょう。

夜道では懐中電灯を持ち歩く習慣をつけましょう。